

令和8年 第6回文教厚生常任委員会会議録

令和8年5月21日 議員控室

○事 件

所管課報告事項

- (1) 渡島廃棄物処理広域連合「クリーンおしま」での火災発生に伴う  
対応等経過報告について（環境水道課）

○出席委員（7名）

|     |           |      |           |
|-----|-----------|------|-----------|
| 委員長 | 横 田 喜世志 君 | 副委員長 | 関 口 正 博 君 |
|     | 赤 井 睦 美 君 |      | 小 西 雄 一 君 |
|     | 斎 藤 實 君   |      | 寺 田 広 樹 君 |
|     | 倉 地 清 子 君 |      |           |

○欠席委員（1名）

黒 島 竹 満 君

○出席委員外議員（3名）

|    |           |     |           |
|----|-----------|-----|-----------|
| 議長 | 大久保 建 一 君 | 副議長 | 宮 本 雅 晴 君 |
|    | 水 野 博 美 君 |     |           |

○出席説明員（2名）

|        |         |        |           |
|--------|---------|--------|-----------|
| 環境水道課長 | 上 野 誠 君 | 環境衛生係長 | 竹 原 利 亮 君 |
|--------|---------|--------|-----------|

○出席事務局職員

|       |           |      |           |
|-------|-----------|------|-----------|
| 事務局次長 | 藤 原 悟 史 君 | 議事係長 | 千 代 貴 大 君 |
|-------|-----------|------|-----------|

◎ 開会・委員長挨拶

○委員長（横田喜世志君） それでは、第6回文教厚生常任委員会を始めたいと思います。定刻より5分ほど早いですが、皆さんよろしくお願いたします。挨拶は特にないので、飛ばして事件から行きたいと思います。

◎ 所管課報告事項

【環境水道課職員入室】

○委員長（横田喜世志君） それでは、所管課報告事項ということで、渡島廃棄物処理広域連合クリーンおしまでの火災発生に伴う対応など、経過報告についてを環境水道課お願いいたします。

○環境水道課長（上野誠君） 委員長、環境水道課長。

○委員長（横田喜世志君） 課長。

○環境水道課長（上野誠君） それでは、まず報告にあたりまして、渡島廃棄物処理広域連合。これは渡島管内の函館市を除く1市9町で構成してまして、ごみの広域処理を運営している団体であります。クリーンおしまというのは、ごみ焼却施設の名称であります。

それで、この度、クリーンおしまにおいて火災発生の事案がありまして、火災に伴い施設が稼働停止となっていることから、その対応等について報告させていただきます。

本日お配りしております資料につきましては、火災の経過、被害の状況、ごみ処理の対応、それぞれについて、広域連合事務局からの資料提供に基づくものに八雲町としての対応を加えまして、現時点での状況を整理したものでありますので、その旨ご了承くださいとともに、今後、状況の変化に応じて適宜本委員会へ報告をさせていただきますので、ご理解を賜りたく存じます。

引き続き、担当係長から本日の報告内容について説明いたします。

○環境衛生係長（竹原利亮君） 委員長、環境衛生係長。

○委員長（横田喜世志君） 係長。

○環境衛生係長（竹原利亮君） それでは、お配りしております資料に沿って説明いたします。

一つ目、火災の経過についてです。

4月29日午前5時40分頃、クリーンおしまの職員がごみピット内において火種を確認し、初期消火を行いましたが、その最中に爆発が生じたため消防へ通報。以降、消防による昼夜を通して消火活動が行われ、5月1日に延焼拡大の恐れがなくなったことから鎮圧が確認され、5月4日完全消火により鎮火が確認されております。

資料に施設図の抜粋したものを搭載しておりますが、地下深くにあるごみピットから出火したもので、煙と熱により4階内部にある固定放水設備による消火が困難となり、4階窓ガラスを破壊し、高所放水車による消火活動をせざるを得ない状況となったことから、鎮圧までに時間を要したものと考えられます。

火災原因の調査が行われておりますが、原因の特定には時間を要する見込みと聞いております。

次に、2ページ目をお開き願います。被害の状況についてです。

被害状況の写真を掲載しておりますが、管理棟部分につきましては、事務室及び会議室において放水による水損や煤の付着、天井材の脱落、3階4階の窓ガラス全損、施設内機器の稼働を制御する中央制御室及びクレーン操作室にあつては甚大な被害であるということ。焼却棟部分につきましては、ダクト部の断熱材の剥離・変質、地下給水設備室の水没、その他として消火に伴い施設内外に大量の排水が発生、地下ピット内に大量の水が滞留。

このような状況にある旨の報告を受けており、被害額の算定には今後数か月を要する見込みと聞いております。

次に、ごみ処理の対応についてです。3ページ目をお開き願います。

最初に、構成市町及び広域連合事務局の対応です。

ごみ収集の状況につきましては、4月29日の火災発生当日のごみ収集を中止した町もありましたが、5月4日からは1市9町全て収集を行っているところです。

仮置き場の状況ということで、クリーンおしまの稼働停止に伴い、各構成市町はそれぞれに仮置き場を確保し、日々の収集ごみを堆積している状況でございます。

代替処理施設の確保状況ということで、クリーンおしまの代替となる処理施設の確保に向けて、連合事務局では記載の6施設と協議を行っており、各受け入れ先との協議、運搬体制の構築等が整い次第、速やかに移送を開始する予定となっております。

今後の方針につきましては、広域連合として粗大ごみの処理先の確保が極めて困難であることから、粗大ごみの受け入れは中止とすると聞いております。

代替処理施設の更なる追加確保に努め、構成市町の排出ごみ全量の処理及び仮置き堆積の解消を目指すということとなっております。火災に伴って、発生する関係費用については関係各所と協議を行うといったことでございます。

次に八雲町の対応についてです。

一つ目、リレーポート山越の受け入れ休止に伴う可燃ごみ直接搬入についての臨時的措置。これはクリーンおしまの稼働停止に伴って長万部町豊津にある中継施設、リレーポート山越も休止せざるを得ない状況となったことから、可燃ごみを直接搬入される方は、リサイクルセンターで臨時的に受け入れますということと併せて、ごみの分別と減量化についてのご協力をホームページ及び町公式LINEにより町民へ周知を図りました。

また、職員に対しましても、ごみ排出量の削減、不急の排出を控えるよう協力を呼び掛けております。

二つ目、町民生活に支障が生じないように、クリーンおしまの稼働停止後も通常通り収集を継続しており、4月30日の収集分から山崎地区にあります、旧塵芥処理場の敷地内に仮置き堆積を行っております。熊等の獣害対策として、周囲には電気柵を設置している状況でございます。なお、4月30日から5月20日までの仮置き堆積量の総量といたしましては、173tとなっております。

三つ目、今後、連合事務局から指示があり次第、代替処理施設での処理が可能となる見込みではありますが、1日に排出される全量が処理可能かどうかは不確定であるとともに、日々

収集される分の処理を優先するため、仮置き堆積物の処理の時期、方法については未定でございます。

その他といたしまして、既に仮置き対応に係る費用が発生していること。また、今後代替処理施設への移送等に伴って当初予定のない様々な費用の発生が見込まれるところです。

この負担方法等につきましては、5月26日に開催を予定しております構成市町の首長会議において協議されることとなっておりますが、予算の補正をお願いすることとなると考えられますので、その際にご審議を賜りたく存じます。

以上の報告内容につきましては不確定要素があり、大変申し訳ございませんが、現状整理した事項についての報告とさせていただきます。以上です。

○委員長（横田喜世志君） 説明が終わりました。質問のある方いらっしゃれば、質問していただきたいと思っております。質問ございますか。

○委員（寺田広樹君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 寺田委員。

○委員（寺田広樹君） 今朝、この山崎の堆積場を見に行ってきたんですけども、自分が想像していたよりちゃんときれいにきちんと整理されていて、臭いも近づかなければ、さほど感じない臭いだったんですけど、今日は気温も低いからそうなのかなと思ったんですが、そこで思ったのは、今朝カラスは集まってませんでしたけれども、これからクリーンおしまの復旧の目途が立たないのであれば、これから気温が上がって行って夏を迎えてくるにあたって、温度が上がるとどうしても臭い等も増大するっていうんですかね。

そうなった場合にカラスが集まる可能性もなくはないと思うんで、確かに電気柵はあったんですが、上からのカラスや鳥の対策はないように見受けられました。

もし、このブルーシートをかぶせてあったのがその対策だということでしたら、それですとしばらく様子見ようかなって考えているのか。いや、カラスが集まった場合の対処もあるんだ、考えてますっていうのがあるのであれば、それも教えていただきたいんですけども、どうでしょうか。

○環境水道課長（上野誠君） 委員長、環境水道課長。

○委員長（横田喜世志君） 課長。

○環境水道課長（上野誠君） 熊対策については、今電気柵で対応してますけど、カラス対策っていうのは、現状ブルーシートでの対応ということで考えておりましたけれども、例えば、それが破られるとか、そういった状況になれば、そういった対策も今後必要になってくるのかなということが考えられます。

あと、今の仮置きの状況が一体いつまで続くかっていうのがちょっと見通しが立たないので、長期化すればするほどそういった鳥の対策等も今後必要になってくるかなというふうには考えられます。そこは対応していきたいなと思っております。

○委員（寺田広樹君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 寺田委員。

○委員（寺田広樹君） もう1つ確認したいんですけども、教えていただきたいんですが、奥に粗大ごみを堆積してありました。それは、ある程度溜まったら豊津の焼却施設へ持って

行くんでしょうか。あと、今集めている生ごみは、バイオマスに持って行って処理しているんでしょうか。

○環境水道課長（上野誠君） 委員長、環境水道課長。

○委員長（横田喜世志君） 環境水道課長。

○環境水道課長（上野誠君） まず、粗大ごみにつきましては、本来であれば、クリーンおしまのほうに持っていくんですけども、向こうのほうで粗大ごみも今受け入れを停止しているので、町としてはあそこに仮置きをしています。そもそも、クリーンおしまの粗大ごみの処理が今できないので、各構成市町の粗大ごみは当面というか、各町まで仮置きが続くという。

それから、生ごみにつきましては、生ごみを分別している方は、それは単体でバイオサイクルのほうに行きますけれども、青い袋に入っている生ごみは、今山崎のところに一緒に青い袋に入って堆積されていますので、それはまたリレーポート等が再開されれば、生ごみも一緒にそちらで処理が可能となるということになります。よろしいですか。

○委員（寺田広樹君） はい、ありがとうございます。

○委員長（横田喜世志君） その他ございますか。

○委員（倉地清子君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 倉地委員。

○委員（倉地清子君） 可燃の粗大ごみが受け入れできなくて、今仮置きしているということですけど、その粗大ごみについても、一般家庭でも町内から出たものを受け入れ続ける予定なんですか。 停止ということにはならないんでしょうか。

○環境水道課長（上野誠君） 委員長、環境水道課長。

○委員長（横田喜世志君） 環境水道課長。

○環境水道課長（上野誠君） 今のところ粗大ごみの受け入れを停止するという考えはございませんけれども、町民への周知として、普及の排出というんですか。急がないものは、なるべく後で出してくださいというようなお知らせの文章を広報等に織り込むとか、LINE で流すとか、ホームページで流すとか、そういった対応をして町民の方々に御理解をいただきたいなというふうには考えていました。

○委員（倉地清子君） 分かりました。もう1つ、リサイクルセンターのほうの火災発生によって、不燃の粗大ごみを一応受け入れてはいらっしやったと思うんですけど、それは今現在もそのまま、そこをちょっと確認させてもらってもいいですか。

○環境水道課長（上野誠君） 委員長、環境水道課長。

○委員長（横田喜世志君） 環境水道課長。

○環境水道課長（上野誠君） 不燃の粗大ごみにつきましては、リサイクルセンターで受け入れて、それは今森町の処理場のほうにお願いして破碎をしていただいているので、不燃の粗大ごみについては、今まで通り何も変わらない対応ということです。お願いしたいと思います。

○委員（倉地清子君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 倉地委員。

○委員（倉地清子君） そうでしたね。報告受けてましたので、それは失礼しました。

あと、ごみ袋の関係ない話になっちゃうかもしれないんですけど、本当に素人質問になっちゃいます。多分皆さん知ってるかと思うんですけど、燃やせるごみとか指定のごみ袋の販売をして町民は買ってますけれども、収入っていうのはどちらに行くんでしたっけ。今ここで聞かなくてもいいんですけど、教えてもらっていいですか。

○環境水道課長（上野誠君） 委員長、環境水道課長。

○委員長（横田喜世志君） 環境水道課長。

○環境水道課長（上野誠君） ごみ処理にかかる手数料というのが八雲町の収入証紙によって徴収することになっています。どういうことかという、収入証紙の売りさばきに、これはごみ袋の販売店が町からごみ袋に金額が表示されているんですけど、これが証紙という扱いになっていまして、販売店は町からそれを買います。

そして、町は証紙代金の8%を売りさばき手数料として、売りさばき人、ごみの販売店に交付するということになってますので、例えば、1千円のごみ袋があるとして、販売店は1千円で町からごみ袋を買います。それで、お客さんへ1千円で売ります。それで、町から販売店へ1千円の8%、80円を交付するというかたちなんで、実質販売店さんが80円の利益を得ているという感じになります。

○委員長（横田喜世志君） 手数料としては、それでいいんじゃないの。

○環境衛生係長（竹原利亮君） 手数料として、販売店としては、1千円のごみ袋を町から買うときに8%控除した金額で買うと。その8%分が手数料で。

○委員（倉地清子君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 倉地委員。

○委員（倉地清子君） わかりました。ありがとうございます。

それで、今日の朝刊にあった七飯町のごみ袋が買いだめしてしまってたのか、品薄になって、ごみ袋が指定じゃなくて市販のでもいいよとなっておりますけど、八雲町は今のところどういう状態ですかね。

○環境水道課長（上野誠君） 委員長、環境水道課長。

○委員長（横田喜世志君） 環境水道課長。

○環境水道課長（上野誠君） 一応、今私たちの情報としては、町内で買いだめをされていくかという状況は聞いていません。

そして、4月の臨時議会で今年購入するごみ袋の購入費を追加補正させていただきました、今年度、見込みの予定数量を購入することが確保できましたので、今のところ在庫に不足を生じるというようなことは考えてございません。

○委員（倉地清子君） はい、分かりました。

もう1つ。この仮置き場が結構満タンになってきてて、場所がまた必要になってくるのかなと目途が立ってない以上、その場合の場所っていうのも確保されているんですか。

○環境水道課長（上野誠君） 委員長、環境水道課長。

○委員長（横田喜世志君） 環境水道課長。

○環境水道課長（上野誠君） 山崎に置きますけど、そこがもうどうしても一杯になったら、一般廃棄物の最終処分場。こちらのほうを代置き場として、候補として今考えております。

○委員長（横田喜世志君） 他に。

○委員（赤井睦美君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 赤井委員。

○委員（赤井睦美君） ごみの問題って役場の責任ではなく、町民一人一人の責任だと思うんですね。それで、火事になろうがなるまいがやっぱりごみを減らすってことは、町民の義務というか、町民の生活スタイルをしっかりと守ってごみを減らすべきだと私はいつも思っていて、特に今回みたいな問題あった時にLINEでごみを少し削減してくださいというのが流れてきましたけれども、町内会とかの協力を得てね、生ごみはしっかり分別するっていう。

それでないとかラスの心配とかそういうこともあるし、臭いのこともあるし、やっぱりできるだけ生ごみを分別するってことをもう一度町内会と力を合わせて、そこは徹底したほうがいいんじゃないかなと思うんですよね。すごく難しいと思うんですけども。

だから、うちの施設なんかだったら、コンポストを用意して生ごみをそこに入れるとか、それから生ごみだけちゃんとバケツで持ってってもらうとかっていうふうにしてるんですけど、やっぱりこういう問題が起きた時には当然ですけど、先ほどのブルーシートかける、それから電気柵やるって、全部お金かかるわけで、それは皆さん、税金から使うんですよって。

だから、自分たちが気をつけてごみを減らすことによって無駄な出費が抑えられるわけだから、そういうことをやっぱりちゃんと皆さんに理解してもらって、本当にごみ処理って、皆さん一人一人の問題なんだよってことを訴えながら、生ごみの分別をこれを機に本当に徹底していければいいなって今回思ったんですよね。

だから、すごく大変なことだと思うんですけども、各事業所とか町内会とかみんなの協力を得てやっぱりごみ減らす。特に、生ごみの分別を徹底するってことを強く訴えたほうがLINEでごみを減らしてくださいの程度じゃなくて、これによって無駄な出費があるわけだから、そこを本当に徹底してほしいなと思うし、うちも議会報告会のほうもあるので、そこでもしっかりお話ししてみんなでもわかってもらえるように頑張りたいと思うので、本当にお返事はね、難しいですっていうお返事はもうはっきり分かってるんですけども、ともに頑張っていきたいと思うので、本当に徹底して機会あるごとに訴えていきたいと一緒にやっていきましょう。以上です。

○環境水道課長（上野誠君） ありがとうございます。

○委員長（横田喜世志君） その他ありますか。

○委員（関口正博君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 関口委員。

○委員（関口正博君） これから費用負担等は、当然クリーンおしまさんの損害状況とかを見ながら、どのような対応になるかというものはまだまだきつと時間がかかっていくんですけども、現状八雲の事業者さんにおいては、先ほど倉地委員のお話にもあったように、不燃ごみに関しては森に運んで、それで今度燃えるごみが分散して処理されるということになれば、檜山地域のごみ処理場であるとか、苫小牧ということも書いてありますけれども、いろんなところにこれを搬送しながらということも出てくるんですよね。

その辺というのは、当然町民の皆さまが意識してごみを減らしてくれりゃあいいんだけど、なかなか他人事のような感じで動いていく以上は、通常業務をしっかりとしながら今ある事業者の中で対応していくというのは非常に大変だろうなというふうにも思うんですね。

今、町においても財政健全化等という言葉がありますけれども、なんとか通常の業務をしっかりとこなしながら、それらの配送というものをこなしていくためには、やっぱりこの費用負担とかがあってというのは、やっぱり町ともしっかり考える。後から、またいろいろなクリーンおしまの費用分配みたいなものってというのは、それぞれに出てくるんでしょうけれども、町としてもしっかりとその辺のことは、金銭的な部分での対応というものはしっかりとやっていただきたいなというふうに思いますね。

これで、通常業務がおろそかになるようであれば、これもまた町民の皆様のまた色々な反発等もあるでしょうし、その辺はちょっと慎重にしっかりと町としても事業者側に立った対策というものは取っていただきたいなと思いますけど、それらはどうでしょうか。

○環境水道課長（上野誠君） 委員長、環境水道課長。

○委員長（横田喜世志君） 環境水道課長。

○環境水道課長（上野誠君） 現実には、仮置き処理に関わる部分を事業者は久次米さんですけれども、通常の塵芥処理業務の委託業務以外の部分を今、仮置き対応でやっていただいている部分がありますので、当然最初は長期化ということがあまり考えてなかったもので、いいよいいよ、みたいな感じだったんですけど、やはり長期化してくると、久次米さんとしてもなかなかそうもいかないようになってきていますので、当然その辺にかかる費用をこれからおそらくは連合として負担するんだろうなとは思いますが、そういった費用の補償というんですか。対価ってというのは、お支払いしていくこととなるべきと考えております。

それは、それに沿って、町のほうも予算を措置させていただくことになると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（横田喜世志君） その他ございますか。

○委員（斎藤 實君） はい。

○委員長（横田喜世志君） 斎藤委員。

○委員（斎藤 實君） やっぱり目途はまだまだ、先ほどの説明ありましたけれども、予定はつかないんですか。

○環境水道課長（上野誠君） 委員長、環境水道課長。

○委員長（横田喜世志君） 環境水道課長。

○環境水道課長（上野誠君） 一応、連合事務局のほうで、先ほどの資料に掲載しています6か所の施設と今協議をしまして、それぞれも北部檜山だとか、南部桧山だとか、そちらに運んでる地区もありますけれども、なかなか日々出る部分を処理できるかという、そうでもない状況でありまして。

八雲町につきましては、まだどこに持っていくかというのが決められていないという状況です。それから、先ほど説明もしましたが、さらに追加で処理してくれるところがないかということも事務局では模索してるというふうに聞いておりますので、ちょっといつになるってというのは、やはり申し上げられないというような今の状況です。

○委員長（横田喜世志君） その他ありませんか。

(「なし」という声あり)

○委員長(横田喜世志君) それでは、渡島廃棄物広域連合報告を終わりたいと思います。環境水道課の皆様、ご苦労様でございました。

#### 【環境水道課職員退室】

○委員長(横田喜世志君) それでは、ただいまの報告事項について協議があれば行いたいと思いますが、何かございますか。

先ほどの倉地委員がおっしゃっていた透明な袋っていうのは、北斗市と今七飯町が透明な袋対応っていうのは、指定っていう言い方が合っているかどうかわかりませんが、八雲町みたいに指定のごみ袋が手に入らないから対応しているということですね。

今のイラクの戦争の影響っていうか、原油輸入の影響ということなので、金額の説明はございまして確保できているっていう話だったので、八雲町はしばらくっていうか、多分今年はなんとかいいのかなと思います。

○委員(倉地清子君) はい、補正予算ありましたからね。

○委員長(横田喜世志君) その他、何か。

○委員(斎藤 實君) あと、このことを考えるとき。1市9町。

○委員長(横田喜世志君) 自力でね、やったほうがいいのかなって思っちゃう。

○委員(斎藤 實君) そしたらさ、もう2つか3つに分散して、なんかあった時お互いに対応できるようにしていくことも、将来的に考え、1つでやればね、いいんだけどさ。

これをこういうふうに起きたらね、そういう部分を考えておくことも必要なのかなっていう感じもするんだよね。

○委員長(横田喜世志君) 昔一時、ごみを圧縮してっていう話が八雲町でもできないかという話も出たことがありますよね。

○委員(赤井睦美君) 今回、一般質問でさせてもらおうと思ってて、やっぱりこういうことあると、変な話、今ガソリンもだんだんなくなるとか、値上げしてくると、あちこち中継しながら運ぶその経費と、自前でやる経費とどれぐらい違うのかということをちゃんと聞いてね。

できれば、例えばうちのほうだったら、せめて長万部と八雲も一緒にやるとか、そういう感じでできないかなっていう質問をしようかなと思ってたんですけど。

○委員(斎藤 實君) こういう火災が起きればね。

○委員(赤井睦美君) 本当に本当に。

○委員(倉地清子君) あと、私も別な視点でごみについての一般質問を考えてるんですけど、要するに、先ほど赤井委員がおっしゃっていた町民の意識のことについても資源ごみとなりうるものも燃やせるごみとして出しちゃってるっていうのが焼却しちゃってる。

だから、資源として使っていて石油の消費、削減をみんなでやっていける仕組みをどうだろうかという話はさせてもらおうと思ってます。

○委員(赤井睦美君) 町民の意識がね、やっぱりごみって。だって、町によっては、本当に焼却ごみがないぐらい分別している町もあるわけだから、人口少ないけどね。

やっぱり八雲もそうやってだしていかないと、人口は減っているごみが増えてるんですよ。それで、当然、新幹線の人たちのごみがあるとかっていう話もあるけれども、やっぱり人口減ったらごみも減らすように意識改革しなきゃダメだなんて思いました。

○委員（斎藤 實君） ただ、先ほど生ごみの話もしてましたけれども、悩みがあるのさ。うちも今どういう体制、生ごみを冷凍して燃えるごみに出してやるんだけど、コンポストもあるんですよ。

ところがね、肥料にして畑に持って行くでしょう。そしたら、キツネ、熊がもう畑をせっかくつけたものが根を掘って。そんなもんだからね、あれは臭いでもってあれすんだべさね。

○委員（寺田広樹君） 熊はもう嗅覚鋭いですからね。本当に特に。視力は弱いんですけど。

○委員（斎藤 實君） それで今はもう全く持って行ってない。だから。

○委員（関口正博君） 簡単じゃないよね。俺も落部だけど、俺夜どうしてもごみ出すんだけど、怖いもんね。夜ごみ出しに行くのもさ。

○委員（倉地清子君） 夜は怖いね。

○委員（関口正博君） そうだと思うよ。八雲の町の人たちはそうでもないかもしれないけど、違う町村の方々ってね、夜ごみ出しとかってなればちょっとやっぱり慎重になるよね。

○委員（赤井睦美君） えー。

○委員（関口正博君） 来るんじゃないかねえかっていう。

○委員（赤井睦美君） そう。

○委員（関口正博君） 街灯少なかったりもするしね。

○委員長（横田喜世志君） それは、町内会に。

○委員（関口正博君） 当然ごみステーションとかはあるんだけども。

○委員長（横田喜世志君） ごみステーションが設置されるということ。

○委員（関口正博君） そうそう。そこの町内によって対応違うんだけど。

○委員長（横田喜世志君） 意外と八雲は、戸別収集してるから。

○委員（赤井睦美君） そうそう、一軒一軒来てくれるからね。

○委員（倉地清子君） 家のところにね。

○委員（赤井睦美君） 朝早く。

○委員（倉地清子君） ありがたいですよ。

○委員（関口正博君） 個別収集はすごくありがたいんだなと。事業者負担が大変だと思うよ。俺も個別負担頼んだことあるけど、これもね、ごみの減量化っていうことを考えるのであれば、むしろそれをやめたほうがいいと思うよ、俺は。

例えば、町内会ごとのごみステーションであるとかということにすれば、きっとこれから事業者負担ってどんどん増えていくから、事業者負担が増えるということは、当然町の持ち出しも増えているということでもあるんですよ。個別負担がいいというふうに、俺はちょっと思えない視点があるかな。どっちかって言ったらね

○委員（赤井睦美君） でも、いつから個別収集になったのか、私気づいたら個別になった。

○委員（関口正博君） うちもやりてえなって思ったことはあるけれども。

○委員（赤井睦美君） 朝出せばいいんだよね。朝早く出せばね。

○委員長（横田喜世志君） やっぱり町内会とかでゴミステーションを作ると、その管理っていうのはやっぱり。

○委員（寺田広樹君） アパートが多い町内会だとすごい悩んでみたい。

○委員長（横田喜世志君） 自分のところで自分のでも困ってるから。

○委員（倉地清子君） 当番制で回ってくるしね。

○委員（寺田広樹君） やっぱりマナーが守れない方がいるんで。

○委員長（横田喜世志君） どうしてもね、収集不可のシール貼られるゴミ袋がね、溜まってくもんね。分別、区別出来てないとか言われてさ。

○委員（関口正博君） いや、どうしてもゴミの意識はそんなに高くはないよ。差はあるだろうけど。

○委員長（横田喜世志君） どうしても、先ほどの生ゴミの話出たけど、プラにしろ、ペットにしろ、例えば洗って出さなきゃいけないっていうひと手間。リサイクルするのにね。

あるいは、ひと手間をみんな惜しんで燃えるゴミ袋に入れちゃう。

○委員（寺田広樹君） 俺はもう癖になってますけどね。プラ出たら水洗いは。癖になっているから。

○委員長（横田喜世志君） 癖になっている人は意識が高いんだろうと思うんだけど、なかなか、そういうところがね。

○委員（倉地清子君） 白色トレイもね、別にして出すし。

○委員長（横田喜世志君） だから、自分のところでもね、いやーって思うゴミがいっぱいある。ちょっと手間かけるだけで済むのするんだけど。

○委員（倉地清子君） 慣れていってほしいですよ、そういう生活に。

○委員（赤井睦美君） ちっちゃい時からやっぱり。

○委員（関口正博君） 今、クリーンおしまのことでいけば、一応15年で今の建物が対応年数切れるということで、ここ2、3年中にそれぞれの町でどうするのか。そもそもクリーンおしま自体をどうするのかという議論が始まっていくんだと思うんだけど、それは八雲だけが抜けてどうこうっていう話になるのか、それが可能なのかどうかというのをちょっと考えなきゃいけない。

○委員（斎藤 實君） それは、やっぱりみんなで考えないばない。

○委員（関口正博君） 外れたことはできないからね。

もう1つは、ちょっと事業者側の話をさせてもらえれば、この八雲に産廃処理場がないっていうのがやっぱり非常に負担大きいところもあるんですよ。

それで、よその町って例えば僕らは事業で出たものって乙部に運んだり江差に運んだりとかってするんだよね。

○委員（斎藤 實君） そうだ。2か所あるから。

○委員（関口正博君） そうなの。それで、八雲あたりの規模であればね、やっぱり産業廃棄物処理場っていうものがあつたほうが、例えばこういう時の代替になったりもするし、で、これから建物を壊していく、何していくにしたってね、費用が高くて溜まらないの。この産廃処理場が近くにないっていうのは。

それで、これは今であればきっと騒ぐ団体も当然あるだろうし、難しいことはあるんだろうけれども、ただ、やっぱり生活にはちょっと欠かせない部分もあるんだよね。背に腹は代えられない部分があるというか。

なんか、そういう方策、産廃処理場というのを1つ取れないのかなというふうには、いろんな考え方は当然あるだろうけど。当然反対の人もいるでしょうけども、正規な法律に則ってそういうものができるのであれば、それはきっと町民にとっては、こういう時の代替えの施設としても、ちょっと有効なものかなというふうには思いますよね。やればいいしょ。

○委員長（横田喜世志君） 俺。

○委員（関口正博君） 5億くらいあればできるって。

○委員長（横田喜世志君） だって、以前八雲町で産廃施設を潰した経緯があるからさ。

○委員（関口正博君） いや、だから、それをちゃんとした管理は当然、今の廃棄物処理場はしなきゃならないわけで、これは乙部持っていこうが、江差持っていこうが見られながら投げなきゃならないという感じではあるからね。昔の八雲のあそこのような感じじゃないから。

○委員長（横田喜世志君） あそこは産廃処理場じゃねえから。

○委員（斎藤 實君） いや、上ノ国近くのほうにうちはそこと契約して、乙部でなくてそこさ持って行ってってたの。

○委員（関口正博君） 上ノ国もあるんですか。いや、上ノ国の近くの江差のほうにあれなんだけど。

○委員（関口正博君） はいはい。

そこはね、施設としては、いろんな置き場所をたくさん作っていますよ。これはここ、これはここ。

○委員長（横田喜世志君） そうしないと要はダメだからね。

○委員（寺田広樹君） 厳しいからね。

○委員（斎藤 實君） そしてね、シートを張っている部分もあるよな。すごい大きい施設。

○委員（関口正博君） もちろん厳しいんだけど。だから、運営していくこと大変なんだけど、町としてはそこをちょっと推進していいのかなという気はするけどね。

○委員（斎藤 實君） だね。

○委員（関口正博君） ただ、簡単ではないけど。自然保護団体様が。

○委員（斎藤 實君） あ、そうそう。

○委員（関口正博君） いろいろな目があるのと、あとは農業の近くで営んでいる方がいれば当然反対するだろうし。

でも、人口減ってるのにごみが増えてってるとい状況ってさ、いろんなものがまた買いやすくなっているこの生活っていうのは、もう変えられるもんじゃねえだろうから、ごみを減らすっていうのはいかにして対応するかも同時に考えていなかったら、ごみ減らそうももちろんなんだけど。

○委員（斎藤 實君） 本当だね。

- 委員（赤井睦美君） 包装が過剰なんだもん。売ってるものの包装が過剰だから、変な話、野菜買ってきて料理しても、野菜のおくずよりもそれが入っていた袋のプラのほうがずっと多いという。
- 委員（寺田広樹君） Amazon で注文して、このぐらいの商品なのにこんな大きいダンボールで来ることないですか。
- 委員（倉地清子君） 来る来る。
- 委員（寺田広樹君） あれも無駄ですよ。
- 委員（赤井睦美君） そうそう、日本は本当に。
- 委員（関口正博君） プチプチ。
- 委員（寺田広樹君） 乾燥剤。
- 委員（倉地清子君） プラごみだもんね。
- 委員（赤井睦美君） プラすごい多いよね。
- 委員（寺田広樹君） 都会じゃ、そういうのが当たり前なんだと思いついてましたけど。
- 委員（赤井睦美君） 今、ビニール袋がだんだんなくなるから、これを機にやっぱり考えていったほうがいいよね。
- 委員（寺田広樹君） そうですね。
- 委員長（横田喜世志君） 一般ごみの一般質問も含めてありそうなので、みんなそれぞれ。
- 委員（赤井睦美君） お願いします。
- 委員（斎藤 實君） クリーンおしまのまた会議はないです。29 日の金曜日に行ってきます。
- 委員（赤井睦美君） 教えてください。
- 委員（寺田広樹君） はい。第2回。
- 委員（斎藤 實君） 南部桧山のほうは、クリーンおしまからこういうような要請あつて、電話で申し訳ないけど電話でいいべかって。会議開かなくてもいいかいと。僕も副会長やってるもんだからさ。それで、いやいいんでないの。電話で皆さんの了解取り付けて、お互いだから協力しなきゃなんじゃねえよと。そしたら、そうするかっていう。
- 委員（寺田広樹君） そうですね。
- 委員（赤井睦美君） クリーンおしまってリモートで十分ですよ。全然リモートでいいよね。
- 委員（寺田広樹君） まあ、そうですね。
- 委員（関口正博君） 十分だし。ちょっと施設もさ、火災起きて水を撒いたらさ、下の給水設備が水没したとか、こんなお粗末な話さ。ちょっと施設としてどうなのよっていうね。
- 委員（赤井睦美君） あんな立派に見えたけど。
- 委員（関口正博君） ただ、そういう施設のことはもうしょうがねえんだけど、これからってやっぱり八雲もそうだったように、こういうことってあり得る話だからね、おそらくはまだそういうモバイル系のものなのか。
- 委員（倉地清子君） いや、本当そうですよ。回収したとしてもね。

○委員（関口正博君） ただ、その原因っていうのはきっと特定もできないだろうし、断定もできないだろうからっていうことは、まだ同じことが起きるといことで、その対策をす  
るお金だって相当かかると思うんだよね。

一回一回こんなもので爆発して、こんなに止められて改修するのに何億もかかっていく  
って言う状況が続くのであれば、これは施設そのものをちょっと考えて直さなきゃないの  
かなという気がしますよね。

○委員（斎藤 實君） だけどね、修理するときに1市9町と言えれば持ち出しだいぶ少なく  
済むね。（聞き取り不能）南部衛生処理組合も、いや、一緒だったんですよ、持ち出し多い  
んですよ。

○委員（関口正博君） でも、こう考えればやっぱりもっと区分けをちっちゃいする。だから、  
さっき言ったように八雲、長万部、森くらいにしてやるだとか、やっぱり渡島でも代替  
施設を何個か持つような感じの運用がいいような気がするけどね。

○委員（赤井睦美君） 提案してきてください。

○委員（斎藤 實君） まあ、こういうようなことがあれば。

○委員（倉地清子君） これ提案できるね。お願いします。

○委員（赤井睦美君） でもね、全然提案聞いてくれないから。

○委員（倉地清子君） あ、そうなの。

○委員（赤井睦美君） 私リモートにしてほしいってね、提案したんだ。そしたら、北斗市  
でやってるんですが、北斗市のルールに従ってくださいって断られちゃった。

○委員（寺田広樹君） そういうように言われたんですか。

○委員（赤井睦美君） すごい。

○委員（寺田広樹君） だって、八雲年間1億何千万払ってますよね。

○委員（赤井睦美君） そう。北斗市のルールなんだから。

○委員長（横田喜世志君） 1億何千万のごみ出していると思えば。

○委員（寺田広樹君） はい。

○委員長（横田喜世志君） ということで、その他何かございますか。

（「なし」という声あり）

○委員（関口正博君） あと、これはあれですかね。今回の財政健全化の話し合いは、議運  
で話し合われた後に、委員会を。

○委員（赤井睦美君） 委員会ですのまま。

○委員（関口正博君） そのまま。一応取っかかりとしては、この子育て支援政策。八雲で  
行っているやつの効果っていうものは、やっぱりちゃんと一回検証しなきゃならないじゃ  
ないか。

○委員（斎藤 實君） だね。

○委員（関口正博君） これは、きっとやりやすいところの担当課の説明をいただかなきゃ  
ならないでしょうけど、そろそろ何年も経ってきている事業もあるし、あと、国の制度との  
照らし合わせもちょっとしなきゃならないし、本当に適切に八雲の運用がされて、どうい  
う効果を得ているのかということもちょっと検証しなきゃならないかな。

○委員（赤井睦美君） ごめん。今回それ、私一般質問にもあげているんだけど。

○委員（関口正博君） ああ、そうなの。

○委員（赤井睦美君） 並行してやってください、一緒に。それと、やっぱり無駄を省くの中で、委託料。コンサルに委託しているっていうのは結構あるので、そこら辺は文厚が所管する中で、どの程度コンサルに委託しているのかっていう、それは本当にコンサルじゃなきゃいけないのかということも調べたいなと思うんですけど。

昔々、子育て支援のね、エンゼルプランっていうのを作って、今は子育て支援なんかほとんどかに名前変わったけど、そのエンゼルプランの時はね、役場職員の方が作ってたの。それがなんとかって名前変わったら、コンサルに頼むようになってね。それは職員数が減って、大変だっていうのもあるのかもしれないけれど。

でも、計画そのものをコンサルで作ったのと、元々職員が作ったのを比較したら大した変わってないんだ。だったら、今AIの時代だから、そういうのを全部、私は使ったことないけどね。AIでベンベンって入れて、もっとそのものらしく作れるんじゃないかなと思ったり、そういう時間さえもなかったら、八雲の民間のAIの得意な人たちをお願いしてやってもらったほうが、コンサルをお願いするよりずっと安いんじゃないかって勝手に思っているんだけど。

○委員（斎藤 實君） いや、だから、一時さ、もうコンサルはちゃんとできてなって、それを名前入れて、八雲の人口入れて、どうこうしたらでき上がるっていうもう各町村並びで。

○委員（赤井睦美君） あったよね。

○委員（斎藤 實君） 業者が果たしてそれでいいのかっていうね、一時期話題になっている。

○委員（赤井睦美君） だから、ぜひその調査をしたいなとは思っています。

○委員（関口正博君） あと、財政健全化で言えば、学校配置の適正化ですね。一応、庁舎の特別委員会のほうで、これからちょっと時間空いて来るんで、町営で持っているいろいろな施設の点検をしたいなというのもあるんだけど、学校教育のほうとちょっとお話しして、そっちの方の方針というものも当然あるでしょうから、この取っ掛かりとして、そういう機会を設けているのかな。学校の適正配置の考え方。なんも進んでないんだろと思うんだけど。

○委員（赤井睦美君） 進んでないと思います。

この間、水野さんが一般質問でしたの。その時に教育長が適正配置はしないと、教育委員会からは言わないと、地域の声があるのでっていう答弁だったんだ。

だけど、それだったら浜松みたいな問題が起きるんじゃないかって言ったら、浜松小学校には教育委員会から声かけてたって言うのさ。そしたら、教育委員会から言わないって言うてるのに、実際浜松には声かけてましたって言ったら、言ってること違うじゃないですか。

だから、やっぱり適正配置は、しっかりと教育委員会の考え方をね、もっともっとはっきり言うべきじゃないかってことを言ったほうがいいと思う。

○委員（関口正博君） 単年、2年3年でできることじゃないから、ちゃんとやっぱり計画立ててやるためには目標立てて、それは議会からちゃんと申し立ててもいいんじゃないかという気はしますよね。

○委員（赤井睦美君） そのほうがいいのかも。

○委員外議員（水野博美君） 今年退職した校長先生がまた1年結局延期して残ってるんですね。そして、違う校長先生の方が新たに来たんですけど。だから、やっぱりその前から考えていけば、適正配置っていう目的があれば、そういう人事異動もきつとまらないと思うので、その前からやっぱり適正配置みたいなのをきちんと考えて、どうしていくかみたいなどころはやっていってもいいと思うので、その施設含めてやっていっていいと思う。

○委員（赤井睦美君） だから、そういうことがあるので、ぜひこちらからも調査したほうがいいと思います。

○委員（関口正博君） 順序だてですね、そしたら。（聞き取り不能）わかりました。

○委員（赤井睦美君） よろしくをお願いします。

○委員長（横田喜世志君） いろいろな問題がございますので、正副でちょっと順序だてたいと思います。今回の一般質問でもいろいろ出ると思うんですが、それも踏まえて考えていきたいと思います。

ということで、今日これから学校給食の試食会というのがありますので、それについても思いがいろいろ。

○委員（寺田広樹君） 今日は木曜日の麺類ですね。

○委員（赤井睦美君） そうなんですか。

○委員（寺田広樹君） 確か木曜日は麺類。

○委員（倉地清子君） くわしい。

○委員（赤井睦美君） えー知らなかった。もう届いてるみたいですね。

○委員（寺田広樹君） そうですね。

○委員（倉地清子君） 説明を受けてからでしたか。

○議会事務局議事係長（千代貴大君） 説明を受けながら。

○委員（赤井睦美君） 食べましょ、食べましょ。

○委員長（横田喜世志君） じゃあ、最後事務局から。

○議会事務局議事係長（千代貴大君） すみません、事務局からです。次回の文厚のご案内です。6月18日木曜日の午前10時からでお願いいたします。事務局からは以上です。

○委員長（横田喜世志君） ということで、第6回文教厚生常任委員会を終了させていただきます。お疲れさまでございます。

[ 閉会 午前11時18分 ]